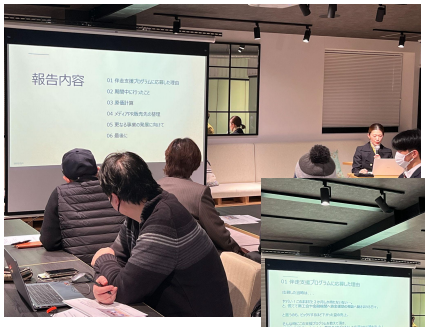
令和6年宗像ビジネス交流会 むなBIZ

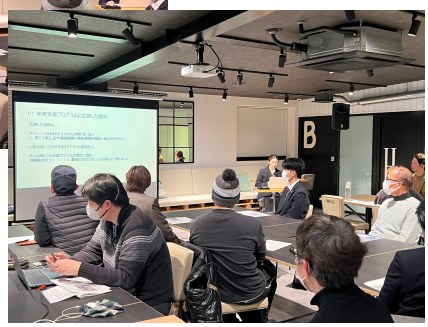
fabbit 宗像
宗像市栄町2-1
赤間駅第二駐輪場2階

【令和6年度宗像ビジネス交流会むなBIZ】『宗像市伴走型創業支援プログラム』成果報告会&記念セミナー

最初こそ緊張した顔で発表をおこなっていたが、最後には堂々とした態度で発表を締めくくるおにぎりキッチンカーの黒木氏

報告会では、おにぎりキッチンカーを運営する黒木氏と、地元で「タイガープリン」として活動する林田夫妻の2組が登壇し、それぞれの創業ストーリーと支援プログラムを通じた変化を発表しました。両者とも、支援を受けるまでの試行錯誤や苦労、そしてプログラムを通じて得た気づきや成長について語りました。発表の中では、具体的な経営の工夫や、今後の展望についてもしっかりとしたビジョンが示されており、支援当初と比べて自信に満ちた姿が印象的でした。この変化は、支援プログラムの効果が確かに表れていることを示しているといえるでしょう。
また、参加者からのアンケートには、「今後も応援したい」「ぜひお店に足を運びたい」といった好意的な声が多く寄せられました。これは、創業者自身が日々の営業活動を通じて培った経験に加え、支援プログラムによって「伝える力」を身につけたことの証ともいえます。単なる商品やサービスの提供にとどまらず、自らの想いを伝え、共感を生む力を身につけたことは、今後の事業の発展において大きな強みとなるはずです。





発表は奥様の麻華氏が行い、現地には旦那様の昇氏も

イベントの後半では、元佐賀市長であり、現在は福岡大学経済学部教授を務める木下氏による特別講演が行われました。木下氏は、宗像市や近隣都市の人口動向や経済状況を詳細に分析し、今後の発展のためには女性への支援が不可欠であると語る。また、地元の物をどう発信し、商売へつなげるか等、独自の目線で参加者へ語った。
本報告会と記念セミナーを通じて、宗像市における創業支援の意義と、今後の可能性について改めて認識する機会となりました。今後も伴走型創業支援の充実を図り、地域の起業家が成長し続けられる環境づくりに努めてまいります。

様々なデータをもとに的確な指摘をしていく木下氏

ご参加者様からのお声

「お二方ともすごく情熱を感じ刺激になりました。」

「伴走型支援プログラムに応募したいと考えていたので、
どのような支援が受けられるか話が聞けてとてもよかった」

「黒木さんの可能性を応援したい。林田ご夫妻の絆に感動しました。」